

後期高齢者の進行食道癌患者に対する術前化学療法の妥当性に関する研究

1. 研究の対象

当院で2015年以降に食道癌と診断され、根治的食道全摘術を行なった症例を解析対象とする。

2. 研究目的・方法

近年、高齢の食道癌患者が増加している。本邦では、進行食道癌に対して術前化学療法（NAC）後の手術が標準治療とされているが、後期高齢者に関しては抗癌剤への忍容性や治療効果の低下が懸念される。NACを省略すべき年齢の基準に関しては定説がなく、施設の方針や患者の全身状態を踏まえて決定されるのが現状である。本研究の目的は、後期高齢者（76歳以上）の食道癌患者に対するNACが周術期成績に与える影響に関して検討することである。当院での食道癌手術患者のデータベースを用いて、retrospectiveに解析を行う。高齢群（≥76歳）において、NACが短期・長期術後成績に与える影響を解析する。高齢群については、NACが臨床経過に有益となるような臨床病理学的素因についての検討も追加する。また、NACの有害事象および治療効果に関して、高齢群と非高齢群で比較する。NACのレジメン別でも比較を行う。

3. 研究期間

当院研究許可日 ～ 3年間

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、生年月日、治療開始日、喫煙・飲酒歴、術前診断、採血検査、化学療法の情報（抗がん剤の投与量や有害事象の発生など）手術情報、術後病理診断、術後経過など

5. 研究に用いる試料・情報の取得方法

電子カルテから3の情報を取得します。

6. 試料・情報の公開

本研究成果については学会、論文等で報告する予定です。学会や論文で発表する際は、個人が特定される情報は削除したうえで発表を行います。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には当該試料・情報の利用を行いません（利用を停止します）ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地

TEL：048-722-1111／FAX：048-722-1129

埼玉県立がんセンター 消化器外科 塩見真一郎（内線番号 5055）

研究責任者：埼玉県立がんセンター 消化器外科 塩見真一郎（内線番号 5055）